

小田中みのるの決意

9 月に入りました。

新型コロナの影響によりすべてのお祭りや行事が中止となり、特別の夏となった 8 月。全国的には 8 月 10 日の 15,000 人をピークに新規感染者がわずかながら減少傾向となってきたようです。この傾向がどのような理由によるものなのか、今後インフルエンザが流行する秋から冬にどのような感染状況となるのか、全く予断を許さない状況です。とにかくマスクの着用や 3 密を避けることなど新たな生活様式を取り入れながら一人ひとりが感染拡大防止に取り組みながら生活するしかありません。

このような状況の中、政治の世界では国民民主党と立憲民主党がそれぞれ解党したうえで今月 15 日に新党を結成することが決まりました。大きな塊となって安倍政権と対峙すると思った矢先、7 月から体調不安説が報道されていた安倍総理が持病の潰瘍性大腸炎の再発のため突然の退陣表明。7 年 8 ヶ月の長期政権にピリオドが打たれることとなりました。

まずは、1 日も早いご回復を願うところではありますが、この 7 年 8 ヶ月にわたる第 2 次安倍政権の検証をしっかりと行う必要があります。第 2 次安倍政権発足当初の特定秘密保護法や安保法制の強行採決にはじまり、森友・加計・桜を見る会など、政権の私物化や官僚による忖度、公文書改ざんなど、様々な疑惑がありながら国民が納得する説明は全くなく、経済政策ではアベノミクスで日本が豊かさを取り戻したのか、そして新型コロナ対策では十分な対応がされてきたのか、今後の対応は十分なのか、などなど検証項目は尽きません。次の総理には、十分な検証・分析するとともに、やはり新型コロナ対策について特措法の改正や検査体制のあり方、休業要請時の保障などの対応についてしっかりやっていただきたいものですし、野党による新党には、国民の声、地方の声をしっかりと聴く政党にならなくてはなりません。私も一地方議員としてしっかりと声を上げていきたいと思えます。

さて、議会は、2 日に西いぶり広域連合議会第 2 回定例会が開催され、室蘭市議会は、9 月 7 日から第 3 回定例会が開催されます。会期は 10 月 5 日までの約 1 ヶ月間となっています。

日程は、

3日	議会運営委員会
7日	開会 議案説明等
11・12・14日	質疑・一般質問
15日	一般・企業会計決算審査特別委員会（書類審査）
16日	総務常任委員会
17日	民生常任委員会
18日	経済建設常任委員会
23日	予算審査特別委員会
25・28・29日	一般会計決算審査特別委員会
30、10月1日	特別会計決算審査特別委員会
2日	議会運営委員会
5日	本会議

となっています。

この度の議会では、条例1件、単行議案3件、人事案件3件のほか、補正予算では、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急対策など一般会計で2億2千2百万円など3件、また、一般・特別・企業の各会計決算10件について議論されます。一般質問においてもコロナ対策をはじめ本市の課題解決に向けて、また、決算委員会では、昨年度の施策の効果や今後の施策の方向性など、様々な観点で議論がなされるものと思います。

新型コロナウイルスについては、まだまだ長期戦となります。一人ひとりが感染予防に力を入れ「移らない・移さない」を念頭に行動し、みんなの力でこの難局を乗り越えましょう！

私も with コロナ、アフターコロナの時代を見据え、空蘭市をさらに元気にするために今後も頑張っまいます。

